

令和 7 年度及び中期目標期間（4 年終了時）に係る
公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果

（案）

令和 8 年 8 月

公立大学法人福知山公立大学評価委員会

目次

I 令和7年度及び中期計画目標期間（4年終了時）に係る業務実績評価について・・・1

II 評価結果

1 全体評価・・ 3

2 大項目別評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

《公立大学法人福知山公立大学評価委員会委員》

区分	職 名 等	氏 名
委員長	京都府立大学名誉教授	あおやま こうぞう 青山 公三
委員長職務代理	大阪公立大学 本部事務機 構 次長	お お く ぼ まさあき 大久保 正明
委員	社会保険労務士・行政書士 菊田学美事務所 所長	きくた まな み 菊田 学美
委員	税理士法人藤原事務所 代表社員	ふじわら たけし 藤原 健
委員	学校法人淑徳学林 理事長	やまぐち つよし 山口 剛

I 令和 7 年度及び中期目標期間（4 年終了時）に係る業務実績評価について

公立大学法人福知山公立大学評価委員会は、地方独立行政法人法（平成 1 5 年法律第 1 1 8 号）第 7 8 条の 2 第 3 項の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学（以下「法人」という。）の令和 7 年度及び第 2 期中期計画目標期間（4 年終了時）に係る業務の実績について、「公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針」、「公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領」及び「公立大学法人福知山公立大学に関する中期目標評価実施要領」により評価を行った。

1 評価に関する基本的な考え方

- （1）評価は、法人の教育研究の特性や運営の自主性、自立性に配慮して行うものとする。
- （2）評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の組織・業務運営等に関して総合的に行い、改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資するものとする。
- （3）評価は、法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとする。
- （4）評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況やその成果をわかりやすく示し、市民への説明責任を果たすものとする。
- （5）評価方法については、必要に応じて工夫・改善を行うものとする。

2 評価方法

- （1）評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- （2）評価は、「項目別評価」及び「全体評価」により行った。
- （3）「項目別評価」は、「小項目別評価」及び「大項目別評価」により行った。

小項目別評価

年度計画（中期計画）の記載項目（小項目）ごとの進捗状況又は実施状況を確認し、評価を行った。

評価	進捗状況（実施状況）
4	年度計画（中期計画）を上回って実施している（上回る実施状況）
3	年度計画（中期計画）を順調に実施している（十分な若しくは概ね実施）
2	年度計画（中期計画）を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）
1	年度計画（中期計画）を大幅に下回っている（特に劣る若しくは実施していない）

大項目別評価

年度計画（中期計画）の小項目別評価及び特筆すべき事項（以下「特筆事項」という。）を踏まえ、中期計画の事項（以下「大項目」という。）ごとに、当該事業年度における中期計画の進捗状況について、次の 4 段階により進捗状況を示すとともに、記述式により自己評価した。

(1) 教育に関する目標を達成するための措置
(2) 研究に関する目標を達成するための措置
(3) 地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
(6) 自己点検・評価及び該当状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

評価	評価基準	判断の目安
S	中期計画（中期目標）の達成に向け計画を上回って進捗している。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上であり、かつ、評価委員会が「S」と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「S」相当と認める場合。
A	中期計画（中期目標）の達成に向け順調に進捗している。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.0以上3.5未満であり、かつ、評価委員会が「A」相当と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.0に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「A」相当と認める場合。
B	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が遅れている。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上3.0未満であり、かつ、評価委員会が「B」相当と認める場合。 ・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「B」相当と認める場合。
C	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。	・小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9未満であり、中期計画の達成のためには重大な改善事項があると、評価委員会が認める場合。

全 体 評 価

「項目別評価」の結果を踏まえ、法人の中期計画（中期目標）の達成に向けた業務の進捗状況を総合的に勘案して評価を行った。

評価	評価基準
S	中期計画（中期目標）の達成に向け計画を上回って進捗している。
A	中期計画（中期目標）の達成に向け順調に進捗している。
B	中期計画（中期目標）の達成のためには進捗が遅れている。
C	中期系威嚇（中期目標）の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

Ⅱ 評価結果

1 全体評価

法人は、教育のまち福知山における「知の拠点」として、地方独立行政法人法（平成15年法律第119号）に基づき、福知山公立大学を設置し、及び管理することにより、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的としている。

(1) 令和7年度評価結果

令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

(2) 総評

以下のような状況や、大項目評価は、1項目が「S」（中期計画の達成に向け計画を上回って進捗している。）、6項目が「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）であったことから、全体評価は「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）と評価する。

全体として、福知山公立大学では、基盤教育院の設置や学生主導の地域活動など、特色ある教育・地域連携活動が展開されている。しかし一方、受験倍率の低下が見られるため、志願者の確保のための取組を精査する等（特に北近畿地域の高等学校との関係強化）、更なる改善と工夫が必要である。これらを踏まえ、引き続き業務運営の改善に努められたい。

（令和7年度実績における特記すべき事項）

- ①高等学校（情報・数学）と中学校（数学）の教職課程の認定を受けたこと
- ②両学部を横断する基盤教育院を設置し、「情報学を基礎とした地域協働型教育」を実践するためのカリキュラム構築に努められていること
- ③学生主導の地域連携（STL事業）を継続実施し、地域のニーズと学生プロジェクトを効果的に接続することで地域を元気にする活動として成果を上げていること
- ④北近畿地域連携機構の相談件数・成約件数の増加や、「NEXT産業創造プログラム」でのクラウドファンディング成立、自治体教創コンソーシアムの設立準備など、地域と連携した事業が着実に展開されていること
- ⑤海外大学との学術交流覚書を締結するなど、国際センターの活動が徐々に拡大していること
- ⑥令和8年度の入学者選抜において、透明性が高く客観的な選抜体制を構築されたこと

【令和7年度 大項目別評価結果】

大項目	大項目 評価	S	A	B	C
		計画を上回って 進捗している	順調に進捗して いる	進捗が遅れてい る	進捗が著しく遅れ ており、重大な改 善事項がある
教育に関する目標を達成するための措置			○		
研究に関する目標を達成するための措置			○		
地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置		○			
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置			○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置			○		
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するた めの措置			○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置			○		

(3)中期目標期間(4年終了時)

中期目標期間(4年終了時)評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

(4)総評

以下のような状況や、大項目評価は、1項目が「S」（中期目標の達成に向け計画を上回って進捗している。）、6項目が「A」（中期目標の達成に向け順調に進捗している。）であったことから、全体評価は「A」（中期目標の達成に向け順調に進捗している。）と評価する。

全体として、福知山公立大学では、「福知山モデル」の具現化に向けた地域協働型教育の実施や、高い就職率の実現など、特色ある大学づくりが着実に進められている。しかし一方、北近畿地域からの入学志願者確保などの項目では課題が残っている。今後は、受験倍率の低下や北近畿地域からの入学志願者数確保といった課題に対し、最適な選抜制度の検討と構築など、更なる対策に努められたい。

（第2期中期計画（4年修了時）における特筆すべき事項）

- ①「福知山モデル」具現化に向けて「情報学を基盤とした地域協働型教育」を設定し、基盤教育院の設置など、文理両分野にまたがる学部横断的な学修体制が整備されたこと
- ②学部生の就職内定率98.9%、大学院修了生の就職内定率100%と高い実績を達成している他、教職課程の認定により地域に貢献できる人材育成の可能性を拓かれたこと
- ③アドミッションポリシーを踏まえた総合型選抜での多角的な評価や、個別試験での「数学」導入など、改善を進められたこと
- ④これまで大きな実績を挙げてきた「北近畿地域連携機構」の抜本的な再編を行い、最大の強みである地域連携事業を更に発展・進化させる取り組みが実践されていること

【中期目標 大項目別評価結果】

大項目 \ 評価	S	A	B	C
	計画を上回って進捗している	順調に進捗している	進捗が遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
教育に関する目標を達成するための措置		○		
研究に関する目標を達成するための措置		○		
地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置	○			
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置		○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置		○		
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置		○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置		○		

2 大項目別評価

第4－1 教育に関する目標を達成するための措置

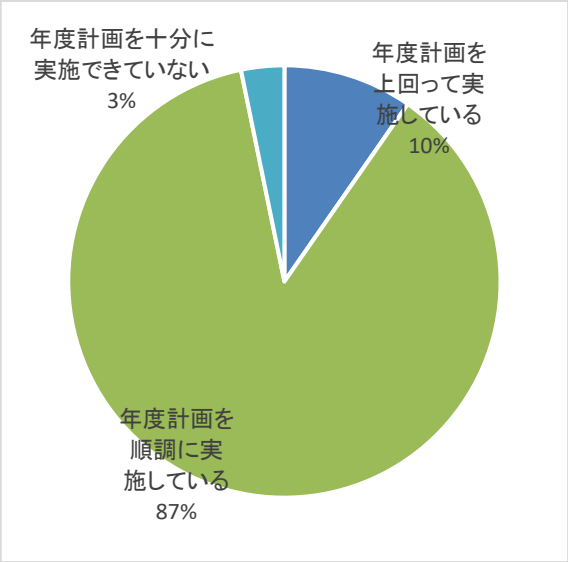
令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.1

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	31	3	27	1	0
	構成比(%)	(9.7%)	(87.1%)	(3.2%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 高等学校（情報・数学）と中学校（数学）の教職課程の認定を受けたこと。
- 地域経営、情報の両学部を横断する基盤教育院の設置を決定したこと。
- 学生主導の地域連携（STL事業）が地域を元気にする活動として成果を上げていること。
- 大学全体で「情報学を基礎とした地域協働型教育」を実践し、「汎用的学修能力の育成」にも注力したカリキュラム構築を行ったことは評価に値する。
- STL助成事業を継続実施し、学生主導の地域連携活動を強化したことを評価する。
- 教職課程の導入により数学、情報の教員免許が取得できるようになった点。
- 共通教育の質的向上を担うため、基盤教育院の組織設計や設置準備を行い、令和8年度から設置できたこと。
- 学生主導の地域連携活動を支援することで、地域のニーズと学生プロジェクトの効果的な接続を実現された。
- 令和8年度の入学者選抜において、透明性が高く客観的な選抜体制を構築された。

(課題となる点等)

- 入学志願者の確保について、定員は充足したものの、法人が設定した指標からみても、一般的な評価からみても、学生募集に大きな課題があるのは間違いない。地域からの進学率の向上を含め、最重要課題として法人が認識を共有して、具体的な取り組みを継続されたい。
- 受験倍率が低下しつつある。倍率の算出方法も含め、志願者の確保のための施策を各方面から精査されたい。
- 入学志願者数の確保に係る高等学校訪問活動について、北近畿地域の学校への訪問を重点的に行うなど、直接的に志願や入学に繋がるよう活動内容を検討されたい。

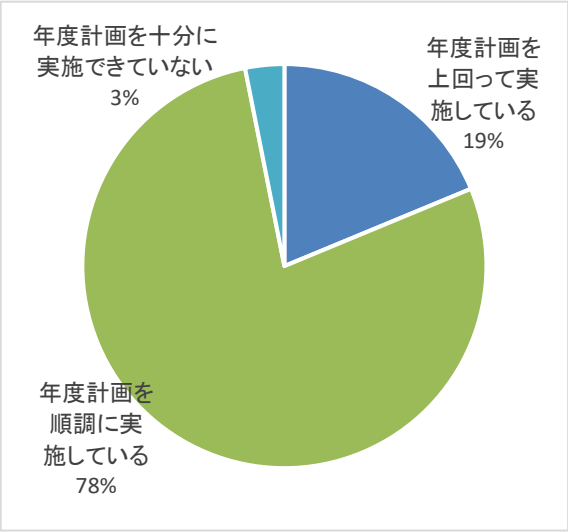
中期計画（４年終了時）評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.2

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	32	6	25	1	0
	構成比(%)	(18.8%)	(78.1%)	(3.1%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 「福知山モデル」具現化に向けて「情報学を基盤とした地域協働型教育」「汎用的学習能力の育成」を設定されたこと。
- 大学院が開設され滞りなく運営されていること。
- 学部生の就職内定率98.9%、大学院修了生の就職内定率100%であること。
- 学部特性を考慮した専門科目だけでなく、両学部学生が共に学ぶ基盤教育科目を開講したこと、またそれを支える「基盤研究院」を設置したことは高く評価できる。
- 中学校、高校の教員免許取得が可能となる、教職課程が認定され、地域に貢献できる人材育成の可能性を拡げたことを評価する。
- キャリア支援体制を整備し各種イベントを開催したことにより、高い就職内定率を達成したことは評価に値する。
- 入学者選抜において、アドミッションポリシーを踏まえ、総合型選抜で個別面接など多角的な評価を導入したほか、個別試験では「数学」を導入するなど、改善を進めたことは評価に値する。
- 基盤教育院の設置を決定され、文理両分野にまたがる学部横断的な学修体制を整備されたこと。
- 教員免許が取得できる課程を設けられたこと。
- キャリアコンサルタントを配置し、就職活動を支援されたこと。

(課題となる点等)

- 学生が堅実に就職できるよう、インターンシップなどのキャリア支援をさらに充実されたい。
- 受験倍率が年々下がっているため、対策を検討されたい。
- 国際交流の充実拡大をさらに進められたい。
- 受験倍率が目標に届いていないため、目標達成に向けて対策を検討されたい。
- 北近畿地域からの入学者の確保が目標に達していないため、更なる対策を講じられたい。
- 北近畿地域からの入学志願者確保に向けて、適切な選抜制度を提供できるように検討を進められたい。

第4－2 研究に関する目標を達成するための措置

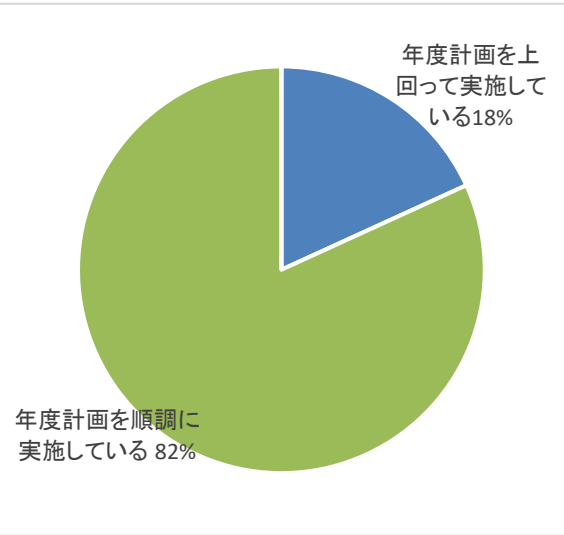
令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評価平均
3.2

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	2	9	0	0
	構成比(%)	(18.2%)	(81.8%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 海外大学との学術交流覚書を締結するなど、徐々にではあるが国際センターの活動が拡大したこと。

(課題となる点等)

- 特記事項なし。

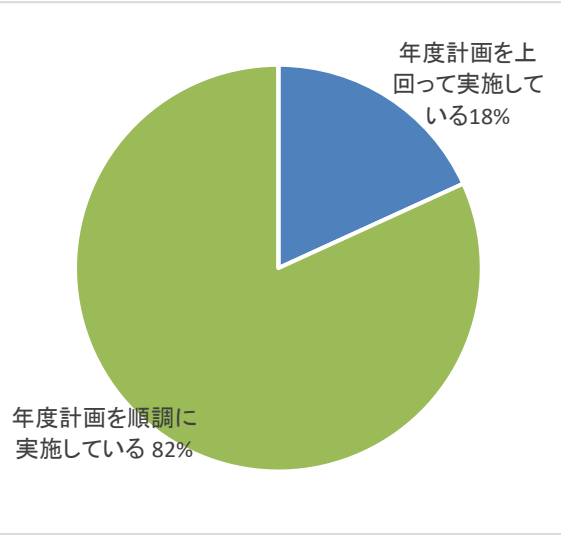
中期計画（４年終了時）評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.2

（１）評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.2となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	2	9	0	0
	構成比（％）	（18.2％）	（81.8％）	（0.0％）	（0.0％）



（２）概況

（評価できる点等）

- 地域課題の発見と解決を目指し、教員の専門分野の取り組みを活かした地域研究を、Fablabや地域イベントの場を通じて推進させたことは評価できる。
- 内閣府イノベーション創造プログラムにおいて、地域と連携した先進的な取組を開始したほか、他の高等教育機関との連携による研究も推進したこと。

（課題となる点等）

- 特記事項なし。

第 4－3 地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置

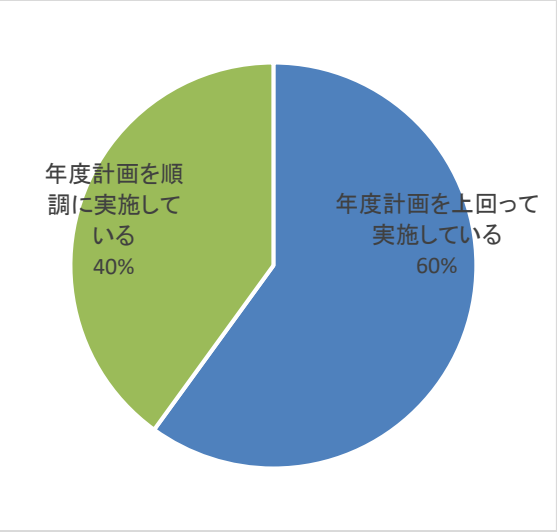
令和 7 年度評価	評価基準
S	中期計画の達成に向け計画を上回って進捗している。

評価平均
3.6

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.6となっているため、大項目別評価としては、「S」評価であり、中期計画の達成に向け計画を上回って進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	10	6	4	0	0
	構成比(%)	(60.0%)	(40.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 北近畿地域連携機構の相談件数、成約件数が増加していること。
- NEXT産業創造プログラムにおいて、クラウドファンディングが2件成立するなど充実が図られていること。
- 北近畿地域の諸学校との連携事業や、東京大学との共催による「自治体教創コンソーシアム」の設立準備など、着実な進捗が見られたことを評価する。
- 地域連携事業が福知山市民に浸透してきており福知山公立大学の存在感が高くなっている点。
- 北近畿地域連携機構を活かし、受託研究・セミナー等を実施することで地域との連携した事業が展開されていること。
- 「NEXT産業創造プログラム」を5年連続受託され、起業・事業化に寄与されていること。

(課題となる点等)

- 特記事項なし。

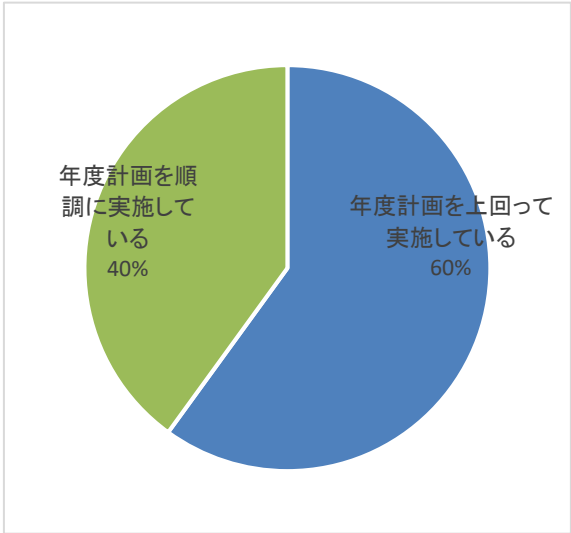
中期計画（４年終了時）評価	評価基準
S	中期目標の達成に向け計画を上回って進捗している。

評価平均
3.6

（１）評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.6となっているため、大項目別評価としては、「S」評価であり、中期目標の達成に向け計画を上回って進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	10	6	4	0	0
	構成比（％）	（60.0％）	（40.0％）	（0.0％）	（0.0％）



（２）概況

（評価できる点等）

- これまで大きな実績を挙げてきた「北近畿地域連携機構」の抜本的な再編を行い、法人の最大の強みである地域連携事業を更に発展・進化させる取り組みは高く評価できる。
- 包括協定締結団体等との連携相談件数が年々増加しており、着実な拡大を見せていることは評価できる。
- 市民のニーズに応えるための市民講座等も継続開催され、「NEXT産業創造プログラム」の実施により、プロジェクトの創出やクラウドファンディングによる財源確保も達成されたことを評価する。
- 「北近畿コラボスペース」を母体とした諸活動が実践されたほか、STL助成金による学生団体が中心となった実践的な活動も展開され、法人の強みが発揮されたこと。
- 「NEXT産業創造プログラム」を5年連続受託され、起業支援を一貫して支える体制を構築されたこと。
- 一貫して地域の課題解決に向けた取り組みを実践されていること。

（課題となる点等）

- 特記事項なし。

第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

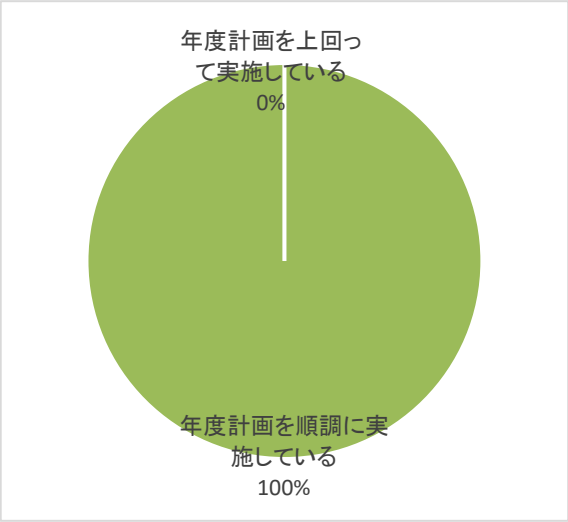
令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評価平均
3.0

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	0	7	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし。

(課題となる点等)

- 特記事項なし。

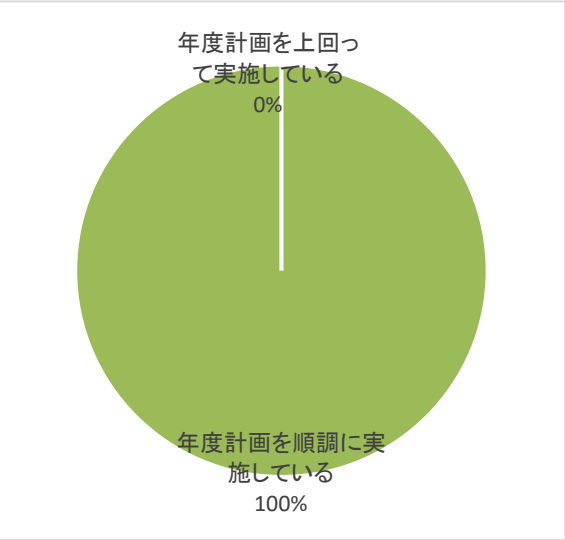
中期計画（４年終了時）評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	0	7	0	0
	構成比（％）	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし。

(課題となる点等)

- 特記事項なし。

第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

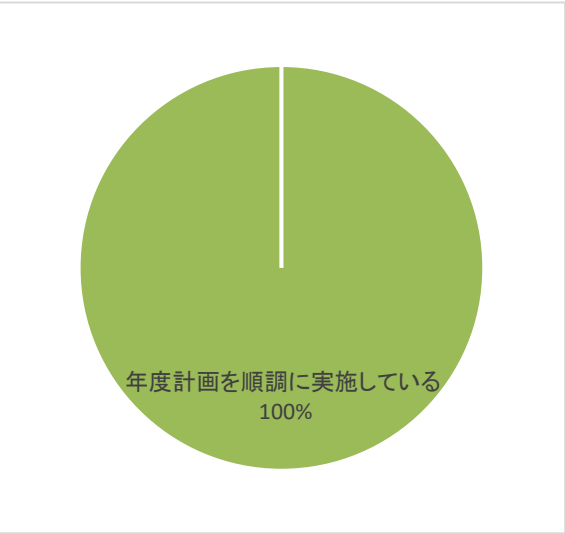
令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評価平均
3.0

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評価平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	6	0	6	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし。

(課題となる点等)

- 教員当たりの外部資金の獲得額を見ると、科研費と受託額を合計しても5,600万円程度であり、文系を含む小規模大学であることを考慮しても、教員一人当たりでは70万円余の獲得額にとどまっている。事務方において科研費応募に向けた情報提供の工夫が進められているものの、獲得額の増加には十分つながっていない。外部資金の獲得自体が目的であってはならないが、大学の研究力向上を示す重要な指標であることから、今後は2学部が連携し、外部資金の獲得に向けて一層努力されたい。

中期計画(4年終了時)評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	6	0	6	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし。

(課題となる点等)

- 寄付金の申し込みがWebから容易にできるようになっていることを更にPRし寄付金拡大に努められたい。

第7 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	2	0	2	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

○ 特記事項なし。

(課題となる点等)

○ 特記事項なし。

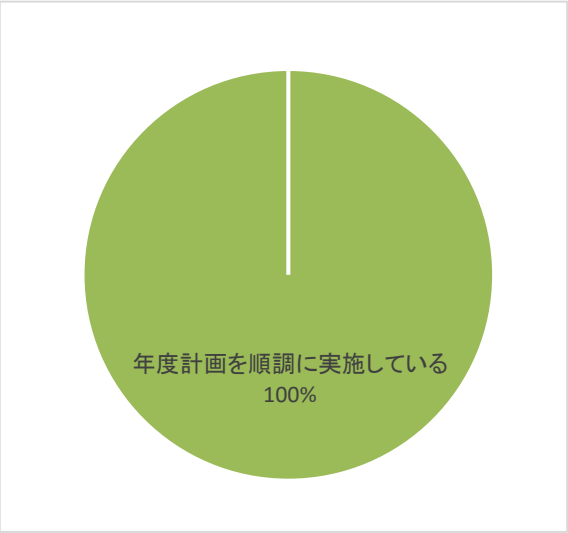
中期計画(4年終了時)評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	2	0	2	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし。

(課題となる点等)

- 特記事項なし。

第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

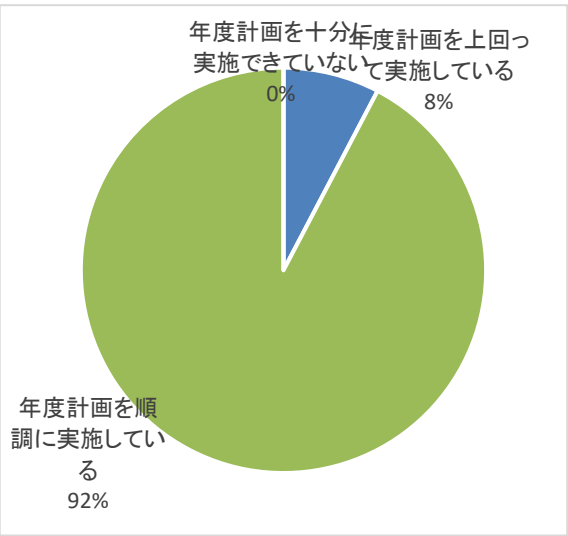
令和7年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.1

(1)評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	13	1	12	0	0
	構成比(%)	(7.7%)	(92.3%)	(0.0%)	(0.0%)



(2)概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし。

(課題となる点等)

- コンプライアンスの徹底は必須であるが、毎年のはラスメント研修参加率が64%～80%と決して高いとは言えない。不参加の教職員の理由・状況を分析し、100%を目指した具体的な取り組みを検討されたい。

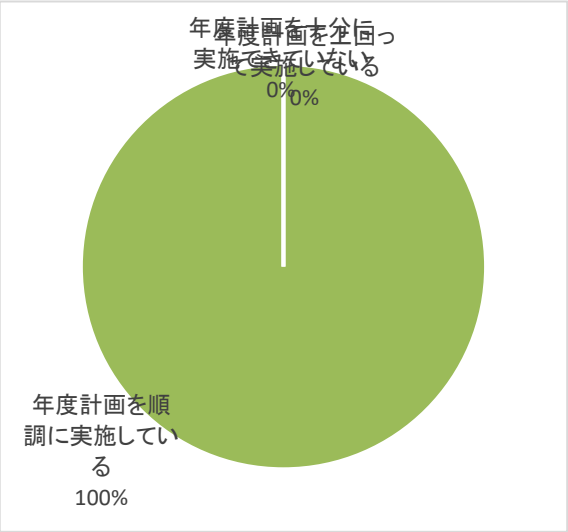
中期計画（４年終了時）評価	評価基準
A	中期目標の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

（１）評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期目標の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	14	0	14	0	0
	構成比（％）	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



（２）概況

（評価できる点等）

- 特記事項なし。

（課題となる点等）

- 福知山に来てよかったと思ってもらえる学生生活が送れるよう、学校施設のさらなる整備充実を進められたい。